

第2章

環境基本計画の進行管理レポート

第2章 環境基本計画の進行管理 レポート

(2019年7月)

《はじめに》

2012（平成24）年に策定された「東広島市環境基本計画」では、その推進体制に「エコネットひがしひろしま」と「市」の連携・協働、加えて、「計画」の進行管理を担う場としての位置づけが明記されています。

計画の期間は10年間とされており、その成果や進捗状況などの評価（Check）を行い、見直し（Action）、その後、新たなステップへの移行（Plan）と実行（Do）へとつながるものです。

2018年9月、エコネットひがしひろしまとしても、会員の進行管理をとおして、健全な提言ができる市民団体への成熟を念頭に、微力ながらレポートを作成しました。

（「東広島市の環境活動事例集～2018年（平成30年）版～」P41～P51）

さらに、平成31年3月に「東広島市の環境活動事例集～2018年（平成30年）版～」を作成し、関係者に配布するとともに、総会後の活動交流会で共有することができました。

《環境活動事例集（2018年版）作成に伴う気づきなど》

- 40の事業者会員・団体会員に原稿の作成を依頼したが、16会員からの入稿に留まった。初めてで、不慣れな点もあったことを考慮すると「まずまず」といえるが、次号は事例倍増を期したい。
- フォーマットを提示したため、これに準じた報告が多かった。生協ひろしまや西条・山と水の環境機構のように、独自のレイアウトも見られたので、次号は自由な編集も念頭に原稿作成を行うことも考えてみたい。
- キーワードの記述のように、活動の視点や「進行管理」との関連にも言及しうるようにしてみるのもいいのではないか。さらに、後述する「指標による進行管理」に資するような数量的な記述も増やしていきたい。
- 活動の様子がわかりやすい写真を掲載できるようにするため、多めのデータ提供をしてもらう。
- 作成したチラシや教材・資料なども収集し、特筆すべきものを特集的に編集してみたい。
- 活動交流会では、事例集が資料となったため、大変わかりやすい発表とやりとりが多かった。
- これらを踏まえて、さらに話題性のある「事例集」の発行と、それを基にした進行管理レポートの作成に取り組みたい。

今回は、日程的なこととも相まって、十分なレポートにはなっていませんが、前回に準じて、以下に報告します。

1 取り組みの項目別の集計

<21世紀半ばの将来像1：「豊かな自然と共生した快適に暮らせるまち」に関する取り組み>

取り組みの柱	取り組みの展開	活動の概要
豊かな自然環境の 保全と活用	人とのかかわりが深い 自然環境の保全	○田んぼの水生生物調査・自然教室（生協ひろしま）P9
	自然とのふれあいの 推進	○フィールドナビ（広島大学総合博物館）P14・15 ○ネイチャーゲームの実施など（呉・東広島シェアリングネイチャーの会）P24・25 ○移動博物館で生き物展示（ひがしひろしまモバイルミュージアム）P36・37
	生物多様性の 保全	○憩いの森での山のグラウンドワーク（西条・山と水の環境機構&賀茂地方森林組合）P26・27
緑あふれる美しい 町並みの創出	市街地の緑の保全と 整備・創出	○サンタプロジェクト（エコ・ページ&近大工学部&半尾川再生まちづくり倶楽部）P6・20・21・30
	歴史・文化的資源と 歴史的な町並みの 保全・活用	
	潤いある市街地景観の 創出	
水・水辺環境の 保全・向上	健全な水質と水環境の 確保	
	水辺環境の保全と ふれあいの創出	○黒瀬川クリーン作戦（かっぱのおうち）P22・23
良好な大気環境等 の保全	きれいな空気や 静かな環境等の保全	

<21世紀半ばの将来像2：「身近な取り組みから地球環境保全に貢献するまち」に関する取り組み>

取り組みの柱	取り組みの展開	活動の概要
資源循環型社会の形成	廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進	
	不法投棄防止対策の推進	○半尾川の清掃(半尾川再生まちづくり倶楽部) P30
低炭素社会の形成	温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進	○脱温暖化キャラバン IN 東西条(エコネットひがしひろしま) P3・4 ○公開シンポジウムの開催(広島大学総合科学研究科資源エネP) P12・13
	新エネルギーの導入	○薪ストーブ普及((有)ノーム) P10・11
	省エネルギーの推進	○省エネトライアル・相談(生協ひろしま) P9
	低炭素社会形成に寄与する事業の促進・支援	○事業活動のCO ₂ 排出削減(生協ひろしま) P8 ○炭づくりPJ(エコ INN くるせ) P19
広域的・国際的取り組みの展開	地域を越えた連携と国際的な協力の推進	○もみ殻クン炭チーム活動(エコ INN くるせ)：脱温暖化プロジェクトせら・くい環境会議に4台のクン炭機拠点整備 P18

<21世紀半ばの将来像3：「環境を守り・伝える心と活動を育むまち」に関する取り組み>

取り組みの柱	取り組みの展開	活動の概要
環境教育・環境学習の推進	学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進	○親子向け工作(近大工学部化学生命工学会) P6 ○本館解説(広島大学総合博物館) P15 ○エコクッキング(エコ INN くるせ) P19 ○西条小学校総合的な学習(西条・山と水の環境機構) P26 ○体験学習・実習・映画会(ひがしひろしま環境家族) P32・33

環境情報の充実	利用しやすい環境情報の整備と発信	○ホームページ（エコネットひがしひろしま） ：使いやすいホームページの改良に着手 ○CSR 報告書（広島ガス）：1年間の活動を40ページの報告書にまとめ。「環境」の視点からの報告も満載
市民・事業者等の環境保全活動の促進	環境保全活動への参加促進と取り組みの支援	○第19回アクアフエスタ in 福富（アクアフエスタ in 福富実行委員会&すいすい倶楽部）： 「水」をテーマに道の駅で開催 P16・17・28 ○ライトダウン in 東広島（広大宇宙科学センター）：8月12日20：30～21：00のライトダウンを呼びかけ（西条地域の事業所等）P34・35

2 重点プロジェクトに関する活動状況のまとめ

前項の活動または団体名をメモ的に下表に再掲します。

重点プロジェクト	取り組み	活動の概要
1 里地里山・田園・里海の保全・活用プロジェクト	川を通じて地域の環境を学ぶ	・半尾川再生まちづくり倶楽部 ・かっぱのおうち
	地域の里地里山・田園・里海を支える	・賀茂バイオマスセンターの運営 ・山のグラウンドワーク(山水機構)
	相互に連携・協力する	
2 資源循環・エネルギー有効利用プロジェクト	みんなで取り組む3つのR	・生協ひろしまの組合員活動 ・光和商事の生ごみ処理容器等の販売
	エネルギーの有効利用	・省エネトライアル ・広島ガスのバイオマスパワー会社の設立 ・ノームの薪ストーブ導入
	目指せ「エコファミリー・エココミュニティ」	
3 意識向上・人材育成プロジェクト	子供も大人も一緒に学ぶ	・総合学習の支援（山水機構）
	環境に配慮した事業者の育成	
	環境リーダーの育成と派遣	

3 考察など

《環境配慮指針に関する活動状況》

○地域別環境配慮指針…9つのエリアごとの活動状況のまとめ

エコネット会員が西条地域に集中していることも相まって、全市的な取り組みには至っていない。

○指標による進行管理

エコネットひがしひろしまの活動と関わりの深い評価指標として次の8項目に着目

- ①市民1人1日当たりのごみ排出量
- ②きれいなまちづくりキャンペーンの参加者人数
- ③民生家庭部門の二酸化炭素排出量
- ④エコドライブ・公共交通の利用
- ⑤新エネルギーの導入
- ⑥省エネルギーの推進（冷暖房の適温管理）
- ⑦環境教育・環境学習の推進
- ⑧市民活動情報サイト（環境eco）の登録団体数

*今回は定量的な把握ができにくいため、今後、これらを意識した活動の数値化を図る。

《今後に向けて》

■会員確保の戦略的視点

会員の目減り傾向がみられるなかで、新たな視点からの会員確保・勧誘策を早急に検討するべきと考えます。会員の少ない（いない）八本松地域・高屋地域・安芸津地域のエコ活動団体などに加入を呼びかけることや、事業者会員の増強も必要です。

また、個人会員のメンテナンスも十分ではないため、例えば寄付型の「賛助会員」制度の創設も視野に入れ、財源の確保に供することも考えてみたいところ。

前提として、「会員のメリット」の明確化があることはいまでもありません。

■市民団体としてのエンパワーメント（力量形成）※協働の視点が必要

健全な提言と協働ができるパートナーシップを発揮できる市民団体をめざしたエンパワーメント（力量形成）が求められています。「計画」には本来、住民自治協議会も巻き込んだエコネットひがしひろしまを想定しています。

今後、地域づくり推進課・市民協働センターなどとの連携を強化しつつ、環境先進都市にふさわしい市民団体への道を追及していきたいものです。

（分析&文責：エコネットひがしひろしま事務局ミーティング）